

第2号様式（第6条関係）

SDGs おおたスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGs の内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGs の推進に取り組むことを宣言します。

< 宣言日 > 2025 年 11 月 20 日

事業者情報					
事業者名		株式会社 三井住友銀行			
代表者 職・氏名	職名	頭取 CEO			
	氏名	福留 朗裕			
ホームページ URL (任意)					
事業者ロゴ (任意)					
事業者としての 2030 年のあるべき姿					
<p>SMBC グループは、「環境」、「DE&I・人権」、「貧困・格差」、「少子高齢化」、「日本の再成長」の5つを特に解決を目指すべき重点課題（マテリアリティ）として定めています。重点課題への取組を通じて社会的価値を創造し、「幸せな成長」の実現に貢献していきます。</p>					
<p>これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17 のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）</p>					
 <p>1 貧困をなくそう</p>	 <p>2 飢餓をゼロに</p>	 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>
○	○	○	○	○	
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>
○	○	○	○	○	○
 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	 <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	 <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	
○	○	○	○	○	

目標の達成に向けた取組内容等		
関連するゴールの数字を記入 (複数記入可)	これまでの取組内容	これからの取組内容
7,11,12,13, 14,15,17	【環境】 <ul style="list-style-type: none"> ・サステナブルファイナンスの取組 ・国内自社物件やデータセンター等における電力の再生エネルギーへの転換 	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動・自然資本・循環経済に対する統合的なアプローチにより環境保護を推進 ・トランジションに資する取組への資金の流れを作り、脱炭素社会の実現に貢献
5,8,10,16	【DE&I・人権】 <ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重体制の高度化。2025年4月に人権課題の多様化を踏まえ、「人権尊重に係る声明」をアップデート 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な従業員が互いに尊重し合い、能力・個性を発揮できる職場を実現 ・SMBCグループだけでなく、お客さまの人的資本最大化も支援
1,2,3,4,5, 8,10,17	【貧困・格差】 <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの居場所・体験機会の提供を行う施設である「アトリエ・バンライ」を銀行の遊休店舗に開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習・挑戦の機会提供により、生まれた環境に関わらず活躍できる社会を実現 ・「マルチフランチャイズ戦略」を掲げる企業として、金融を軸に絶対的貧困の解消に貢献
3,8,11,17	【少子高齢化】 <ul style="list-style-type: none"> ・誰もがお金に対する正しい知識を身に付け、安心して暮らせる社会を目指し、金融経済教育を幅広い世代に向けて提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・人生100年時代のさまざまな不安を、多様な商品・サービスの提供を通じて解消 ・年齢・地域を問わず利便性の高い金融サービスにアクセスできるインフラを構築
2,4,7,8, 9,11,17	【日本の再成長】 <ul style="list-style-type: none"> ・資金提供や協業支援等、幅広いソリューションでスタートアップを支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のメガバンクの矜持として、企業の課題解決・成長支援を通じて日本の発展に貢献 ・新産業や次世代の支援など、金融の枠に捉われない挑戦により日本の成長を後押し